

第43回 北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会 大会全般の注意

1 全般的事項

- ① 入場は大会関係者及び引率者、選手は8:00、応援などの一般の方は8:20とする。
(9日(木)入館順は団体戦参加チーム→個人戦参加チーム。応援一般午前8:20分以降)
- ② 荷物は各地区に割り当てられている場所に置くこと。応援のための席の移動は制限しない。
- ③ 応援などの一般の方は、自分の地区の席にお座りください。会場は狭いですので、選手、監督、コーチ、マネージャーを優先にして座ってください。最前列は、応援優先としますので、荷物は置かないでください。
- ④ 開会式などの最中は極力、体育館内の移動や出入りをしないようにご配慮ください。
- ⑤ 原則として敗者監督(地域クラブ活動指導者、外部指導者含む)審判制とする。また、敗者選手は線審を行うこと(単は1名、複は2名)。なお、得点係と単の場合のもう1名の線審は主管地区協会が担当する。
- ⑥ フラッシュやライトを点灯させての撮影および競技フロア内での撮影は禁止とする。また、ライブ配信やSNSなどへのアップも禁止とする。
- ⑦ 「知っておきたいバドミントンのルールやマナー」「公認審判員行動規範について」等を熟読し、大会に臨むこと。



知っておきたい
バドミントンの
ルールやマナー



公認審判員行動
規範について

2 試合に関する事項

(1) 全般的事項

- ① 審判団は各試合主審1人、線審2人、得点係1人を配置する。サービスジャッジは準決勝より配置する。
- ② 試合が連続する場合は、前の試合終了後、10分間を確保して次の試合のコールをする。
- ③ 団体戦及び個人戦ともに、試合のコールがされたら直接コートに集合し、主審が来てから挨拶をする。トーナメントで上に記載されている方が主審から見て左側に入場すること。
- ④ 表彰、入退場、試合の挨拶の際は、マナーとしてウェア(上衣)の裾は下衣の中に入れること。
- ⑤ ハードタイプのクーラーボックスの競技エリア内への持ち込みは禁止とする。氷のうは、ソフトタイプの保冷バッグに入れ、コーチ席で保管すること。
- ⑥ うちわ、ハンディファンなどの選手への使用は、インターバル時のみ認める。コーチ席に座っている者がインターバル以外の時間にそれらを使用することは妨げないが、それらを叩いて音を出す行為は禁止とする。
- ⑦ 今大会はコートサイドにカゴを用意しない。タオル、スクイズボトル(水筒)、滑り止めなどはまとめてバッグに入れ、コートサイド(主審のそば)に置くこと。また、その他の物はコーチ席で保管すること。なお、交換用ラケット(ケースから出しておく)はバッグの上に出しておくことを認める。

- ⑧ コーチ席に入る監督、外部指導者（コーチ）、マネージャー等は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。公認審判員規程第5条第12項（8）によるものとする。なお、Tシャツについては、チーム名が明記されたチームTシャツ（ロングTシャツを含む）のみ認めることとする。その他のTシャツ（ロングTシャツを含む）を着用は認めない。その適否の判断は、大会レフェリーによるものとする。
- ⑨ 試合中のけが等の応急処置は、レフェリーの確認のもと救護スタッフが行う。その後の処置は各自の責任とする。
- ⑩ 応援は品位を保って行うこと。鳴り物の使用、相手を煽る、囂し立てるような応援は認めない。

（2）団体戦

- ① 各コートのコーチ席に入れるのは、その学校（チーム）で登録している（男女別）監督、マネージャー、外部指導者（コーチ）、団体戦に登録されている選手のいずれか2名以内とし、必ずIDを付けることとする。
- ② 団体戦でベンチに座ることができるのは、監督、マネージャー、外部指導者（コーチ）、選手とする。チェンジエンスの際に、ベンチの移動は認めない。
- ③ オーダー交換は、対戦相手が決まり次第、放送にて案内する。定刻（指定のあった時刻）までにオーダー用紙の提出がないときは、棄権と見なす場合がある。
- ④ マッチ前練習は、初回戦のみ行うこととする。（片方が初回戦の場合は、初回戦のチームのみ行う）団体戦の挨拶が終了後、チームごとに2分間ずつ行う。（チームでの練習のため、2分間の中に「レディトアップレイ」を含まない）1コートのみで試合を開始する場合は、トーナメントの表記が上のチーム（スコアシートの記載が左側のチーム）から行う。両チームの練習が終了したら、各マッチの挨拶、トスをし、試合を開始する。各マッチにおいての練習は認めない。
- ⑤ 基本的に2コートを同時に使用しての並行試合を行う。進行の関係で3コート同時に試合を行うこともある。この場合は監督に確認の上で実施する。複1もしくは単が終わったら、空いたコートで複2を行う。
- ⑥ 試合の勝敗は複1・単・複2のうち、いずれか2マッチを先取したチームの勝ちとする。どちらかのチームが初回戦の場合は第2複まで行う。それ以降は、2マッチ先取後打ち切る。

（3）個人戦

- ① コーチ席に座れるのは、IDが発行されている者（協会登録をされている者）のうち2名までとする。今大会のみの特例として、IDが発行されている者であれば他校（他地区も可）の選手のコーチ席に入ることを認める。ただし、団体戦登録選手は、自校の選手の試合のみとする。
- ② 個人戦については、マッチ前の練習は行わない。ただし、試合がコールされてから主審が来るまでの間、単の場合は対戦相手と、複はパートナー同士での練習を可とする。なお、練習球は各自で準備すること。主審がコートに来たら、速やかに練習を止め、試合の準備をすること。